



【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝 12 高岡市産業振興部 地域振興交流課内  
TEL.0766-64-1426 FAX.0766-64-0566 <https://sugegasa.web.fc2.com>

## 令和5年度総会開催

6月30日(金)福岡支所3階大会議室で、令和5年度「越中福岡の菅笠製作技術保存会 総会」を開催し、25名(委任状99名)が出席しました。

村本会長から、「皆様の協力により、可能な限り行事を実施出来た事に感謝申し上げる。若い人が参加し易い雰囲気を作り、菅笠ファンを増やしたい。」と開会の挨拶がありました。

令和5年度の事業計画として、菅笠製作技術者の後継者育成、若い世代の参加を促すためのワークショップ等の実施、高岡市と協力して、菅笠づくり講座の開催、笠骨づくりマニュアル上級編第2弾の制作を行うこと等が承認されました。

総会にご出席下さいました会員の皆様、ありがとうございました。

令和4年度 笠骨職人育成継承者と菅笠づくり講座「笠骨づくり・笠縫い」研修生18名の作品を展示しました。



## 令和4年度 笠骨職人育成事業 「菅笠製作技術後継者審査委員会」

3月9日(木)福岡支所3階大会議室で、令和4年度 菅笠製作技術後継者審査委員会が開かれ、第5期生の堤眞知子さん、第6期生の菊地裕美さん、第7期生の中居望さん、第8期生に応募した中山有希子さんの面接と笠骨の審査を行いました。堤さんは研修再開、菊地さんは継続、中山さんを新たに継承者として選定しました。

堤さんは「腰の具合が悪くなり1年間休ませて頂いた。体調が戻ったので再開したい。令和5年度は長い外輪骨の竹割を習得し、一から笠骨が作れる様に頑張りたい。」、菊地さんは「研修1年目よりも多く製作し種類も沢山作った。外輪骨の竹割りから行い、とても勉強になった。令和5年度は市女笠の様な特殊な形の笠骨づくりも身につけ、新しい笠も作ってみたい。」と二人とも意欲的でした。

中山さんは「笠骨づくりを教えられる人が少ないので、技術を身につけて次に伝えられる繋目になりたい。」と、応募の動機を伝えました。

委員からは、「4人とも笠縫い講座を受講していたので、笠縫い職人の気持ちが分かる。どの笠骨も丁寧な作りだが、外輪骨の爪づくりに注意して製作したら良い。」という意見がでました。

令和5年度、堤さんは各種笠骨の寸法表と尺竹の製作、菊地さんは特殊な形の笠骨を中心に16種類の笠骨づくり、中山さんは基本的な笠骨10種類の笠骨づくりにチャレンジします。



7期生の中居さん(写真左)は、12種類計37笠製作しました。令和5年度は研修を休止し、翌年度復帰予定です。



- ・写真左/審査委員会で、令和4年度に製作した笠骨を審査しました。
- ・写真右/令和5年度の職人育成の様子。腰や膝などに負担がかかりにくい作業台(文化庁補助事業を活用して製作)を使用し、育成事業を行っています。

## 令和4年度「菅笠づくり後継者育成講座」笠骨づくり・笠縫い修了



- ・写真左/「笠骨づくり」全20回(1回3時間)、初受講3名を含む7名が受講。  
講師：中山孝志さん、城山孝さん
- ・写真右/「笠縫い」全20回(1回5時間)、初受講8名を含む10名が受講。  
講師：橋本レイ子さん、茂古沼真知子さん

令和4年8月から8カ月間、福岡支所3階大会議室で行われた「菅笠づくり後継者育成講座」(高岡市主催)が、令和5年3月に無事修了しました。

「笠骨づくり講座」では、笠骨の長さ等の基準となる尺竹(各笠骨専用の竹製の定規の様な物)の製作を行い、この尺竹を使って角笠・富士笠・浅山笠・一文字笠・立山笠を製

作しました。講座最終日には8カ月間の講座を振り返り、意見交換会を行いました。「笠骨づくりは笠縫い作業と比べて工程が少ないので分かりやすい。」「上手になるにはやるしかない!」という意見が受講生から出ました。「笠縫い講座」では、正月飾り笠・立山笠・富士笠・角笠・一文字笠・三度笠・ヘルメット笠の製作を行いました。受講生の感想には、「ノズケ作業が安定しない。リズムカルに出来るように努力します。(受講3年目)」「初めてなので迷路の様。工程が様々あり、覚えるのが大変。(受講1年目)」と記入されていました。

令和5年度は8月から開講します。これまでは原則最長3年間受講可能でしたが、令和5年度より、笠縫い講座で製作する9種類(三度笠・ヘルメット笠・市女笠等)の笠が修了しない場合、3年目以降も受講可能となりました。市女笠は頂上部が平な形と尖った形の2種類を習得します。特殊な形の笠縫いは時間が掛かりとても難しいですが、各自のペースに合わせて進めていきます。

ご不明な点などありましたら事務局までお気軽にお問い合わせください。(TEL.0766-64-1426)

### ◆笠骨づくり講座



- ・写真左/令和4年11月より、「作業台」を使用して講座を行っています。
- ・写真中央/第19、20回は、笠縫いで使う長い竹ヒゴの小骨作りを行いました。
- ・写真右/講座で製作した外輪骨と中骨の尺竹。

### ◆笠縫い講座



- ・写真左/直径40cm程の笠は、4~5回受講で完成します。
- ・写真中央/ノズケ作業で、親管を押さえる左手の動きを確認しています。
- ・写真右/笠骨づくり講座の「作業台」は、笠縫いでも活用しています。

## 令和4年度 笠縫いマンツーマン講座

令和4年10月~令和5年3月に、福岡支所1階 菅笠展示コーナーの畳スペースで、笠縫いマンツーマン指導を行い、堤真知子さんと菊地裕美さんが、市女笠や次郎長笠等の笠縫いの要を松平カツミさんから学びました。

次郎長笠のノズケ作業と笠縫いは、隙間が出来ないように慎重に行い、講師の松平さんから「二人とも隙間なく均一に縫ってあり、よく出来ています。」と高評価でした。



- ・写真左/堤真知子さんは、富士笠・角笠・次郎長笠・市女笠(尖)・一文字笠を製作しました。
- ・写真右/菊地裕美さんは、市女笠(尖)・次郎長笠を製作しました。
- ・笠骨づくり講座で使用している「作業台」を活用しています。

## 中骨用の女竹が手に入らない…

笠骨づくり職人育成事業の講師、中嶋尋之さんから「女竹を切る職人不足で、入荷はいつになるのか分からないと仕入れ先から言われて困っている。」と事務局に相談がありました。女竹は節間が長く加工しやすいので笠骨の中骨に使用し、カラ竹や孟宗竹は太くて丈夫なので外輪骨と小輪骨に使用しています。

笠骨の材料不足は育成事業や講座だけでなく、菅笠業界全体の大ピンチです。

女竹の代用としてスス竹を使用してみましたが、折れやすいので作業効率がとても悪く、このままでは笠骨を作ることが出来なくなってしまいます。

2月7日(火)に行われた理事会で、女竹の安定供給の対策を協議した結果、石川県金沢市にある竹材店へ視察に行くことになりました。2月28日(火)、村本孝義会長、中山孝志理事、事務局2名が竹材店に行き、竹の安定供給について相談しました。「九州地方から節の長さ50cm程の女竹を仕入れることが出来そうです。全国的に竹を切る職人が高齢化によって減っており、後継者が不足しています。」と社長さんがおっしゃっていました。



3月中旬に以前から取引のある仕入れ先から女竹が納品され、育成事業を続けることが出来てホッとしました。後に、金沢市の竹材店の方が笠骨づくりに適している女竹の見本を持参してくださり、今年の秋ごろに納品予定となりました。材料の安定供給により、これからも菅笠づくりの製作技術を守り伝えていく事が出来ます。菅笠づくり職人、竹を切る職人、どちらも後継者不足です。関係各所だけでなく、様々な所と連携し、問題解決に向けて前進していけたらと思います。



・写真左/笠骨づくり育成事業を行っている、講師の中嶋尋之さんの工房。女竹の在庫が残り少ない時は、カリキュラムを変更し、直径の小さい笠等を製作して乗り切りました。  
・写真右/中嶋工房の竹の在庫。

## 上向田ふれあい交流会 菅笠講習会



3月18日(土)上向田集会場で毎年恒例の「上向田ふれあい交流菅笠講習会」が行われ、宮崎光子さんが12名に角笠と花笠の笠縫いを指導しました。今回も初参加の方がおられ、菅笠の継承に繋がる講習会となりました。



## 笠骨づくりマニュアル3 完成しました!

撮影と編集協力をした「越中福岡の菅笠笠骨づくりマニュアル3(高岡市制作)」(DVD)が完成しました!

今回は大野笠・胴深笠・三度笠・妻折笠・次郎長笠の笠骨づくりと、中骨の曲げ加工の時に使用するハサ(型板ともいう。分厚い板に、釘が打ってある道具。炭火で炙った中骨を、釘と釘の間に挟んで形を固定させる)の作り方を分かりやすく説明しています。

撮影にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

### 【笠骨づくり講座受講生 マニュアル1・2を視聴した感想】

- ・工程がチャプターに分けてあり見やすい。
- ・全体的に丁寧に説明されていて分かりやすい。
- ・講座中ではなかなか覚えられないところを何回も見たい。
- ・復習になってよい。
- ・実際に学んだこと以上に合理的・効率的な手法が詳細に説明されている。

※マニュアルの貸し出しをしています。お気軽にお問い合わせください。

(TEL.0766-64-1426)



・撮影は、中山孝志さんの工房(勝木原)で2日間に渡り実施しました。  
・今年度は、ヘルメット笠・一文字笠・市女笠(尖と平)の笠骨づくりマニュアルを作成予定です。

## 「GEIBUN CURATION 展 vol.2」 ミニ菅笠づくり体験等の協力

三井アウトレットパーク北陸小矢部2階 Meets GEIBUN で、1月21日(土)～2月12日(日)「第6回企画展 GEIBUN CURATION 展 vol.2 富山大学 芸術文化学部キュレーション領域による、菅笠文化の過去・現在・未来」が開催され、展示協力として福岡支所に展示している世界で2番目に大きな大野笠や、富士笠などの笠骨、菅細工などの貸し出しと、ワークショップ「ミニ菅笠づくり体験」講師の派遣を行いました。



- ・写真右上/「ミニ菅笠づくり体験」橋本レイ子さんと松平カツミさんが14名に笠縫いを指導しました(2/5)。
- ・写真右下/中山煌雲さんが菅笠づくりの実演を行いました(2/5)。
- ・写真左/今回の企画展は、令和4年秋に高岡市福岡歴史民俗資料館で開催された企画展を再構成したもの。展示手前右から2番目の菅笠は、株式会社ウエルカム福岡の吉田社長のご愛用のヘルメット笠♪展示協力、ありがとうございました。

### かさほんからのお知らせ

町の皆に親しまれている福岡町中央通りの「菅笠地蔵」。

この度、新しく菅笠を竹村与志子さんが、前掛けを糸岡淑子さんが作ってくれたにゃん♪

菅を編んだ前掛けに、菅細工のフーチが付いているにゃんよ。かわいい菅細工は、いっぶく処でも購入できるにゃん。

今日も皆を優しく見守ってくれている「菅笠地蔵」に会いに来てにゃーん。



菅笠地蔵/福岡町中央通り  
「まちづくり福岡工房 いっぶく処」様  
竹村さん、糸岡さん、ありがとうございましたにゃん♪



HARITA METALS

# We create.

私たちは、つくる。

入金が振り出したもの、生み出したもの、  
そして、社会を回り、運んでくるものたちを、もう一度、「素材」にする。  
それが、私たちハリタ金属の仕事。



ハリタ金属株式会社 本社 〒939-0135 高岡市福岡町本領1053-1 TEL 0766-64-3516  
福岡支所 〒939-0116 高岡市福岡町下義355-2 TEL 0766-64-0009



煌雲  
KO-WN

# (有) 沢田金物



戸出町3-11-11  
TEL 63-0253・FAX 63-0573



MILK HOUSE  
Hand Made SoftCream Factory



# みるくはうす

雅楽と菅笠 雅楽の館  
高岡市福岡町福岡1208 ☎0766-64-0390

まちづくり福岡工房 いっぶく処  
高岡市福岡町福岡1206 ☎0766-64-0020

高岡市福岡にぎわい交流館  
高岡市福岡町下義355-2 ☎0766-64-1227



株式会社ウエルカム福岡 (施設指定管理者)  
〒939-0116 高岡市福岡町下義355-2 ☎0766-64-0009  
公式ホームページ URL : <https://r.goope.jp/welcomefukuoka/>



法人会員募集中！  
年2回発行の保存会通信に広告を掲載します。  
お申込み・お問い合わせは事務局(☎0766-64-1426)まで